

ワシントン条約の情報 (下書き)

CITES（ワシントン条約）の規制が発表されたことで、音楽業界全体が驚くことになりました。多くの人々がCITESを適切に処理する方法について疑問を抱いています。日本では、経済産業省はCITES情報の最終的な権限であり、あなたの質問に答えることができるCITES部署を持っています。（電話番号：03-3501-1723 全ての必要書類は下記のページからダウンロードできます：http://www.meti.go.jp/policy/external_economy/trade_control/02_exandim/06_washington/cites_ex4_syorui.html#shinsei2）面倒ではありますが、CITESを申請することはそれほど難しいことはありません。

最初に知っておくべきこと - 今年1月2日（2017年）までのCITESの資格を取得するには、ギターをエクスポートしなければなりません。近年製作されたほとんどのギターは、メーカーから入手可能なCITESクリアランス情報があります。

外国製のギターでは、今年の1月2日以前にギターを購入したという証拠も必要です。

国内製のギターでは、ギターの日付を識別できるシリアル番号が付いているか、ギターがもう存在しないメーカー（Guyatone、Teisco、Pleasantなど）のものであれば、会社が存在しなくなったという情報を提供する必要はありますが、購入の証拠を提出する必要はありません。

ワシントン条約に必要な書類：

インボイス（2枚ずつ必要）

輸出承認申請書（2枚ずつ必要）（両面印刷）

輸出承認申請説明書（2枚ずつ必要）

CITES 申し込み（2枚ずつ必要）（両面印刷）

ギターのカタログ、製作者のスペックなど、ページのコピーでも大丈夫です。

購入の証拠（必要な場合のみ）

経済産業省の他の書類（必要な場合のみ）

アプリケーションを記入する方法を理解するために調べることができるサンプルセットを作成しました。青いテキストはほぼすべてのオーダーで同じです。緑色のテキストは、注文ごとに調整する必要があります。これらは一例として提供しています。ご質問がある場合は、経済産業省にご相談ください。

この「輸出承認申請書」と「CITES 申し込み」の例は片面です。でも、印刷のときに両面必要です。

経済産業省のワシントン条約の情報は

http://www.meti.go.jp/policy/external_economy/trade_control/02_exandim/06_washington/

お問い合わせ：

貿易経済協力局 貿易管理部 貿易審査課 野生動植物貿易審査室 電話：03-3501-1723